

新商品紹介

廃プラ対応など
焼却炉3機種発売

DAITO

焼却炉メーカーのDAITO(株)(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど、廃プラ対応焼却炉ISRモデル・SPRモデルの2機種と、紙くず・木くず用焼却炉AGZRモデルを発売した。

ISRモデルは写真IIは水冷式で廃プラを長時間、安定燃焼することが可能。耐火材式のSPRモデルは火格子(ロストル)燃焼方式で、高い燃焼効率を維持するタイプで、用途に応じて選べる。

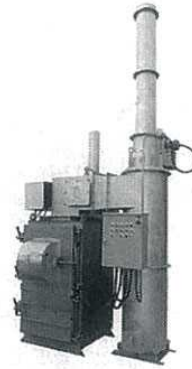
AGZRモデルはロングセラーである耐火レンガ式AGZIIモデルの後継として操作性と安全性を高めた。

行政への届け出が不要(条例により一部必

要な自治体もあり)で、法規制による焼却炉の構造基準に適合。行政から指導があれば同社が責任を負う「構造基準適合保証」を付加している。

仕様は、ISRモデル

ルが1時間当たりの焼却能力29キログラム(廃プラ12キログラム)、火床面積0.49平方メートル、一次燃焼室容積0.47立方メートル、価格は568万円(税別、取り付け費など別)。初年度の販売目標は各20台に設定。



0120
21・31
36へ。